

キケンな虫の
虫ケア

ず かん
図鑑



キケンな虫は 悪モノなの？

3月のある日
冬眠から目覚めた
キイロスズメバチの
女王は活動を始めた

わー
いい天気！

ヤンキーさん
もごめんなさい。

未来の子どもたちの
ための…

巣づくりを！

でも私なんかは
ぐんぐんお金の
かじり…
えい、
まはは
木をけずって

あー
このチキチキ
ねー

んー…
ここはどこなの…か？

それから女王は
雨の日も晴れの日も休まず
巣づくりにはげみました

ときには天敵に
出会うことも

ん？！
なんだあいつ
まだ一匹か…
まあ、
ほっとくかな

そしてついに

巣は完成したのです

おー

われながら
じょうてき！

これなら
卵を
産めるわ！

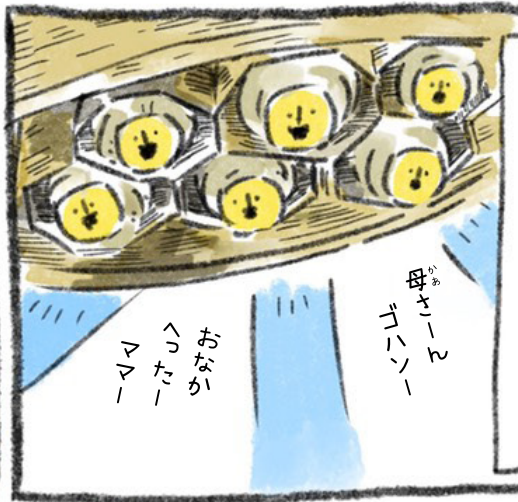
どうか元気な子が
生まれますように…

すべてが
うまくいってました

ただ
一点をのぞいて…

「ゴゴゴ…」

数日後、卵からは
元気な子どもたちが
たくさん生まれていました



母ギヤー
ゴーン
おなか
へった
ママ



はいはい
すべーと
くるがひ
しかしそのとき

ギヤー
ハチー!!



へ?



ギヤー!
ハチよーハチ!

人間!?



どうして人間か!?



こっかわたし...

ひとんちの屋根に
巣つくってるー



巣は動かさないし、
子どもたちも
守らなまぎや...

こっかわたし...

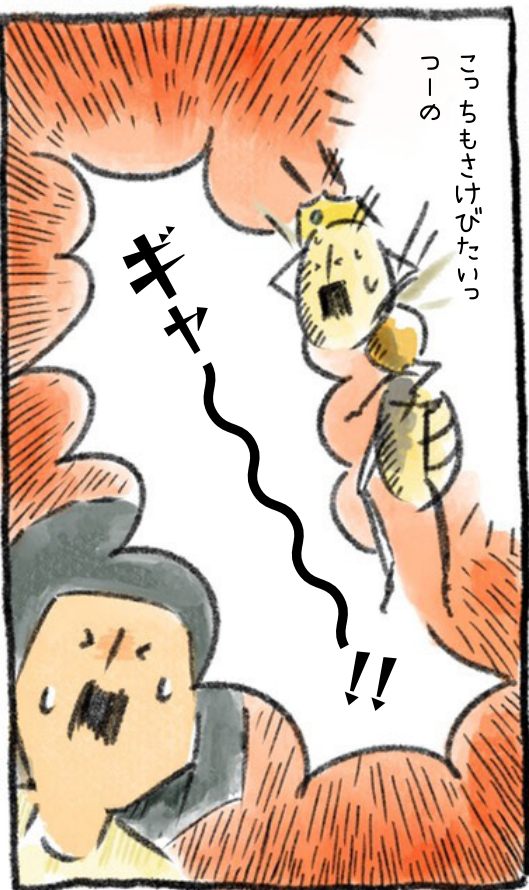


ギヤー!
ギヤー ギヤー



なんだか
すべーとハチーとびるよハチ...

ちよ...おちこつて



こっちもさげびたいっ
っの

ギヤー

!!

さあみなさん、
キロスズメバチが人間と戦うのはなぜでしょうか?
そして、どうしたら戦わずにすむのでしょうか?
私たちが気をつけることで、人も虫もくらしやすくなるはずですよ。

- 家や学校の近くに、巣をつくらせないように気をつけましょう。
- ハチに出あったら、おどろかせないようにそっとはなれましょう。

キケンな虫も大切な命です

さす



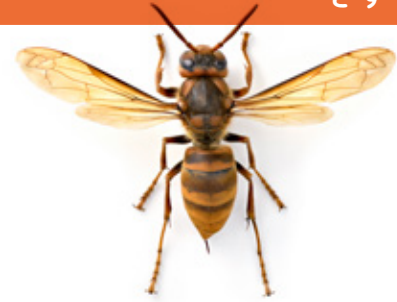
ヨコヅナサシガメ (カメムシのなかま)
P.8



ヒトスジシマカ (ハエのなかま)
P.7



ヒロヘリアオイラガ (チョウのなかま)
P.6

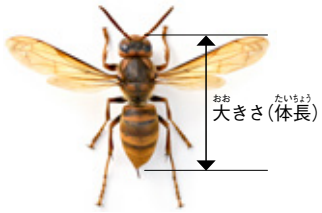


キイロスズメバチ (ハチのなかま)
P.5

どくだ毒を出す

大きさについて

頭から腹の先までの体長を表しています。
触角やはね、あしなどはふくみません。



大きさ(体長)



ヒメツチハンミョウ (甲虫のなかま)
P.11



アオカミキリモドキ (甲虫のなかま)
P.10



アオバアリガタハネカクシ (甲虫のなかま)
P.9

かむ



フトゲチマダニ (ダニのなかま)
P.13



トビズムカデ (オオムカデのなかま)
P.12

キケンな虫の
予防法

P.15

お出かけ前の
虫ケア
チェック

P.14

漫画: じゅえき太郎
撮影: 吉田攻一郎
写真協力: アマナイメーجز、安田守、島田拓
デザイン: 鷹嵩麻衣子
編集協力: Nature & Science (アマナ)

Q どうして攻撃するの？

働きバチは家族を守るために、巣に近づいた敵を追いはらおうとします。攻撃の目印となるにおいを毒針から敵に向かってふきつけ、そのにおいを触角で感じとった別の働きバチも攻撃に加わります。

Q さされたらどうなるの？

強い痛みとともに、さされた場所は赤くなりはれ上がります。人によっては、アレルギー反応(アナフィラキシーショック)を起こして、ショック死することもあります。

腹部
メスの腹部の先には毒針があります

胸部
4枚のはねと6本のあしがあります

単眼
明暗を感じます

触角
においを感じます

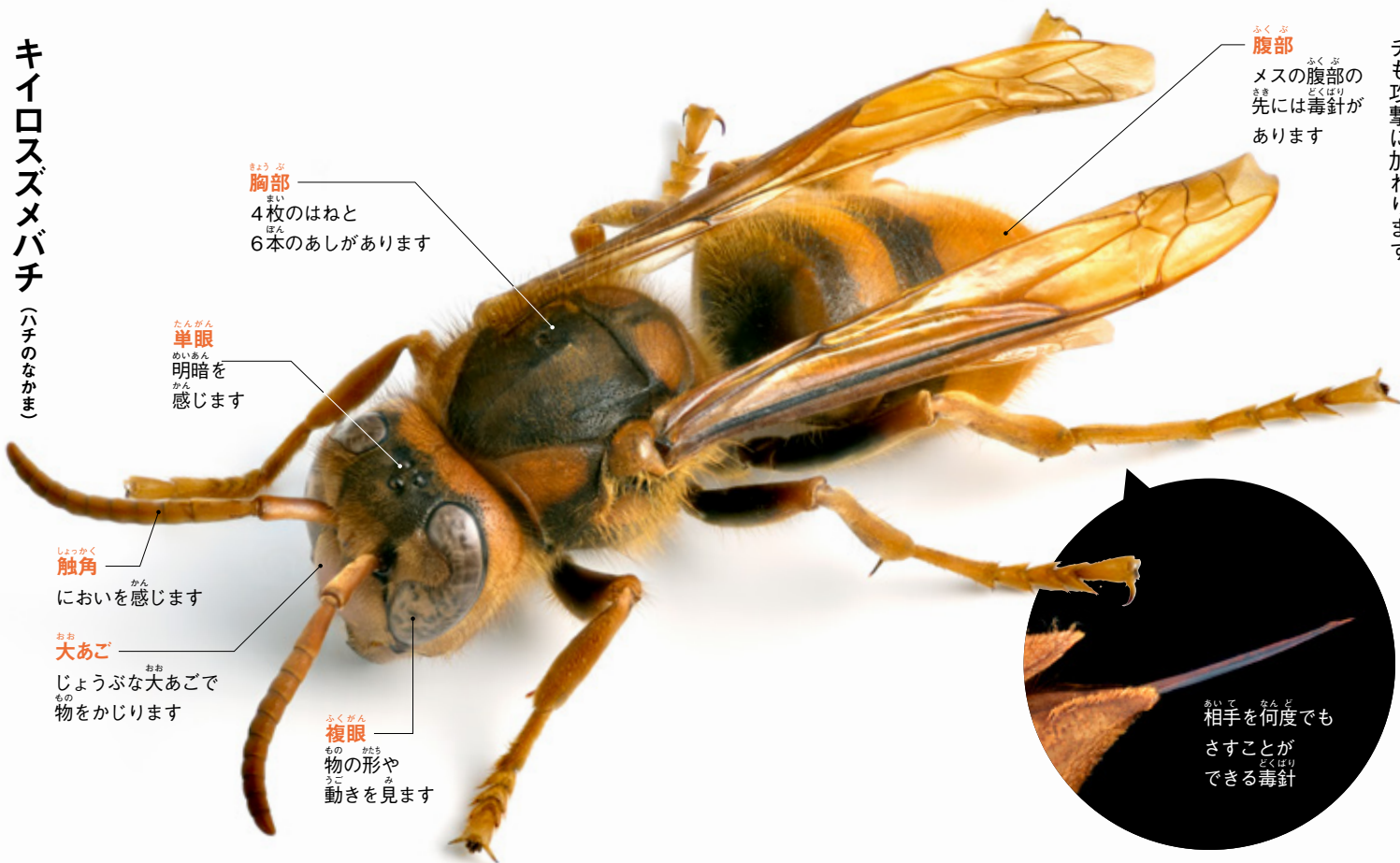
大あご
じょうぶな大あごで物をかじります

複眼
物の形や動きを見ます

相手を何度でもさすことができる毒針

最強説 クマよりこわい

キイロスズメバチ (ハチのなかま)



働きバチの本当の大きさ



Q どこに巣をつくるの？
枝と枝の間や木にあいた穴、がけや土の中にできた空間に、40〜80cmほどの大きな球形の巣をつくります。また、住宅地にもすんでいて、家のかべの間やのき下につくることがあります。

女王バチは、いつびきで巣づくりを始める

冬眠から目覚めたキイロスズメバチの女王バチは、花のみつや樹液を吸って体力をつけます。そして、4〜5月ごろ、木にあいた穴や、のき下など巣づくりによさそうな場所を探して巣をつくり始めます。巣の材料は、じょうぶなあごでけずった木の皮にだ液を混ぜたものです。卵を産み、幼虫を育てて、働きバチがふえるまでは女王バチいっぴきで巣を守ります。



すんでいる地域 本州〜屋久島

大きさ 女王バチ 25〜28mm
働きバチ 17〜25mm

成虫が見られる時期 4〜10月

痛み ★★★★★

かゆみ ★★★★★

感染症リスク ★★★★★

葉っぱのウラの恐怖

ヒロヘリアオイラガ (チヨウのなかま)

Q どうしてさすの？

6〜10月ごろ、葉のウラに、びっしり幼虫がくっついていていることがあります。公園や庭に植えられたサクラやカエデ、カキノキに多く、ケヤキやクスノキ、ミカン、アラカシなどでも見つかります。



脱皮直後は、じまんの毒針もふにやふにやで役立たず

幼虫は、成虫になるまでに数回皮を脱いで大きくなります。これを脱皮といいます。ふだん毒のトゲで身を守っているイラガの幼虫も、脱皮のときだけは武器が役に立ちません。なぜなら、脱皮してすぐはトゲがやわらかく、さすことができなからず。幼虫にとって脱皮は必ず通らないといけない道。ぜったいに見つかりたくない命がけの瞬間です。



体を後ろから見たところ。黒い部分も毒のある毛の束です



成長した幼虫の本当の大きさ

腹部 腹部をうねらせて移動します

- すんでいる地域 本州～南西諸島
- 大きさ 成長した幼虫 20～25mm
- 幼虫が見られる時期 6～10月

- 痛み ★★★★★
- かゆみ ★★★★★
- 感染症リスク ★☆☆☆☆

背 たくさんの毒のトゲが生えています

Q ビビってさすの？

鳥などの敵に見つからないよう、葉のウラに多いのですが、にげあしがおそいので、見つければ簡単に食べられてしまいます。それを防ぐために毒のトゲで身を守っているのです。

Q さされたらどうなるの？

トゲにふれると、電気が走ったような、するどい痛みを感じます。このことから、別名「でんき虫」と呼ばれています。さされた場所は赤くなり、しばらく痛みます。

頭部 明暗を感じる単眼が左右に6個ずつあります

触角

胸部 先のとがったあしが6本あり、葉などに引っかけて進みます

memo 脱皮直後のイラガの幼虫はさしませんが、脱皮した皮の方に毒のトゲが残っているので要注意です。

Q どうして血を吸うの？

メスがおなかの卵に必要な栄養を得るために、動物の体から血を吸います。じゅうぶんな血を吸ったメスは、卵が成長するまで安全な場所で2〜3日じっと休んだあと、移動して産卵します。

Q なぜ世界で一番キケンなの？

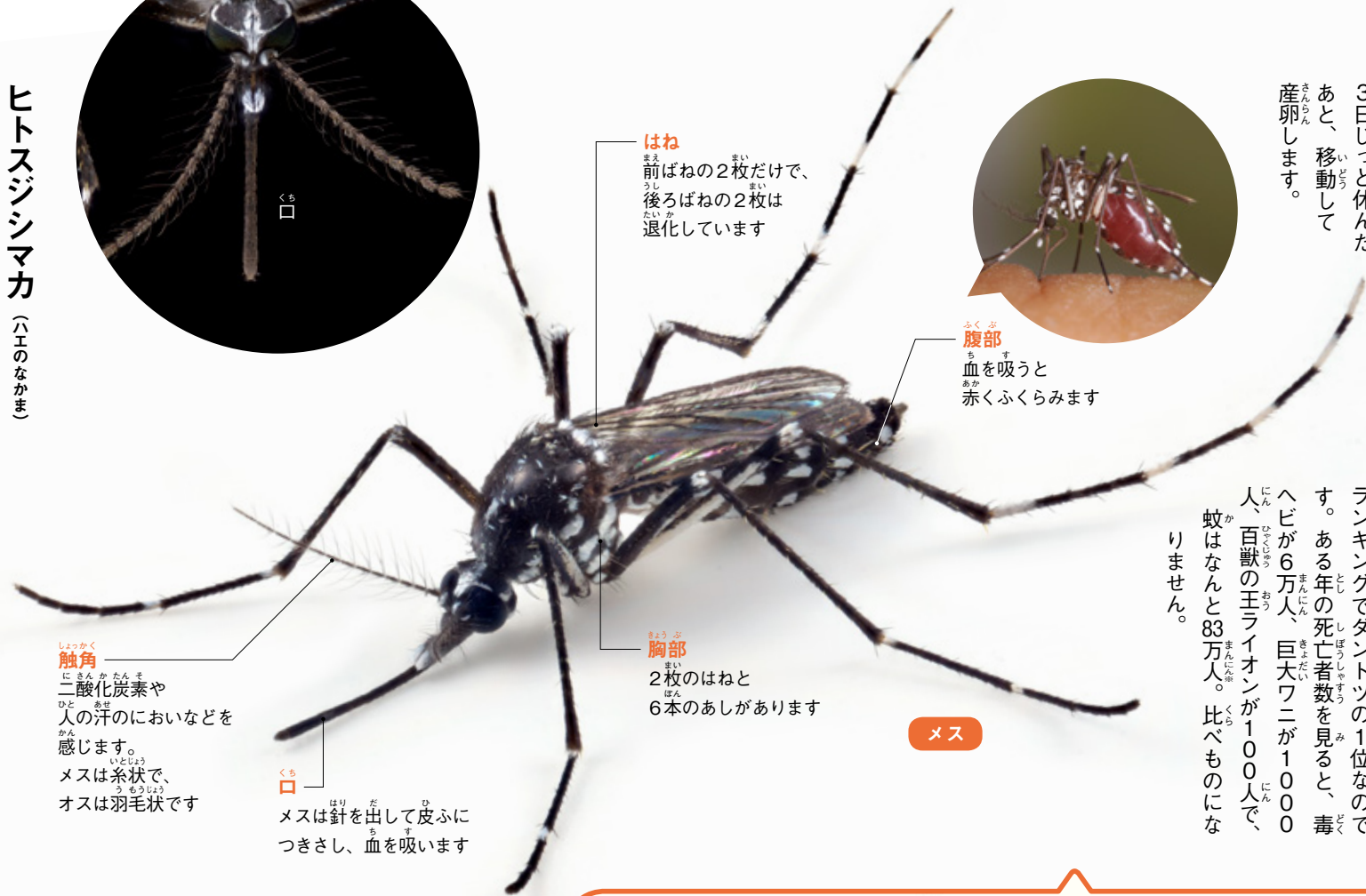
蚊は血を吸うときにおそろしい病気をうつすことがあります。なんと人間の命をうばう野生動物の世界ランキングでダントツの1位なのです。ある年の死亡者数を見ると、毒ヘビが6万人、巨大ワニが10000人、百獣の王ライオンが100人で、蚊はなんと83万人。比べものになりません。



腹部
血を吸うと赤くふくらみます



はね
前ばねの2枚だけで、後ろばねの2枚は退化しています



胸部
2枚のはねと6本のあしがあります

メス

触角
二酸化炭素や人の汗においなどを感じます。メスは糸状で、オスは羽毛状です

くちくち
メスは針を出して皮ふにつきさし、血を吸います

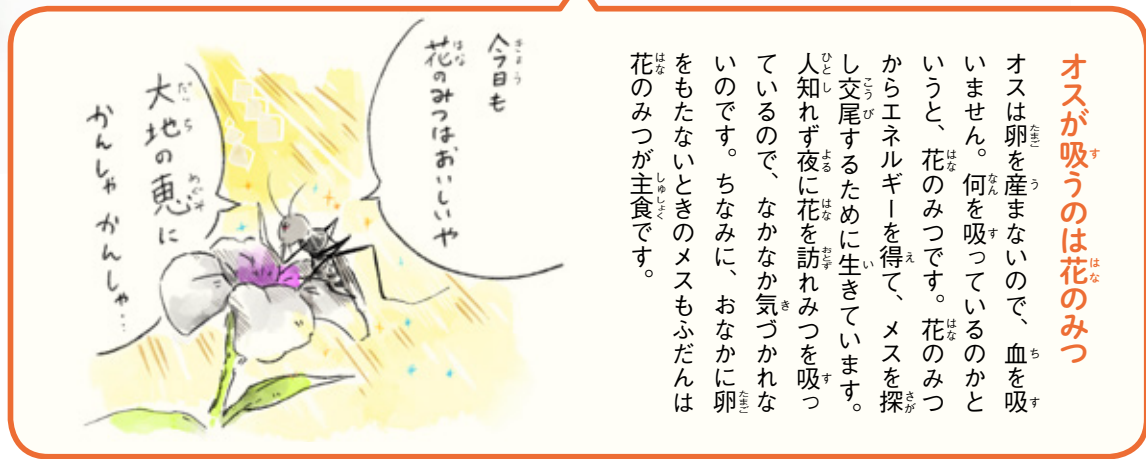
世界で一番キケンなモンスター

さす

ヒトスジシマカ (ハエのなかま)

Q ライニング？

落ち葉にたまった水など、ちよつとした水たまりでも幼虫は育つことができます。成虫は風のない場所や葉のかげなどしめっぽい場所にいます。人が4〜5mのところ付近くと、はく息にふくまれる二酸化炭素や体温、汗のにおいを感じてよってきます。



オスが吸うのは花のみつ

オスは卵を産まないいで、血を吸いません。何を吸っているのかというと、花のみつです。花のみつからエネルギーを得て、メスを探し交尾するために生きています。人知れず夜に花を訪れみつを吸っているのです。ちなみに、おなかに卵をもたないときのメスもふだんは花のみつが主食です。



すんでいる地域 東北地方以南
大きさ 4.5mm前後
成虫が見られる時期 5〜11月

痛み ☆☆☆☆☆
かゆみ ☆☆☆☆☆
感染症リスク ☆☆☆☆☆

恐怖の注射針

ヨコヅナサシガメ (カメシのなかま)

Q どうしてさすの？

サシガメのなかまは、注射針のような口をえものの体につきさして体液を吸う、肉食性の昆虫です。また、食事の時以外でも、危険を感じると身を守るためにさします。

Q さされたら どうなるの？

チクツとした痛みがして、赤くはれることがあります。痛みはやがてかゆみに変わり、1週間ほど続くこともあります。

まつくろの幼虫が 羽化直後はまっかつか！

4〜5月ごろ、幼虫は木の幹で黒い皮を脱ぎ成虫へと羽化します。成虫の体は大部分が黒くてツヤツヤしていますが、羽化直後は、なぜか全身あざやかな赤。遠くから見ると、まっ赤なプラスチックのおもちゃが木にささっているのかもしれないです。ぶじに羽化して体がすっかりかたくなるころには、体の色も黒くなります。



幼虫は木の幹で黒い皮を脱ぎ成虫へと羽化します。

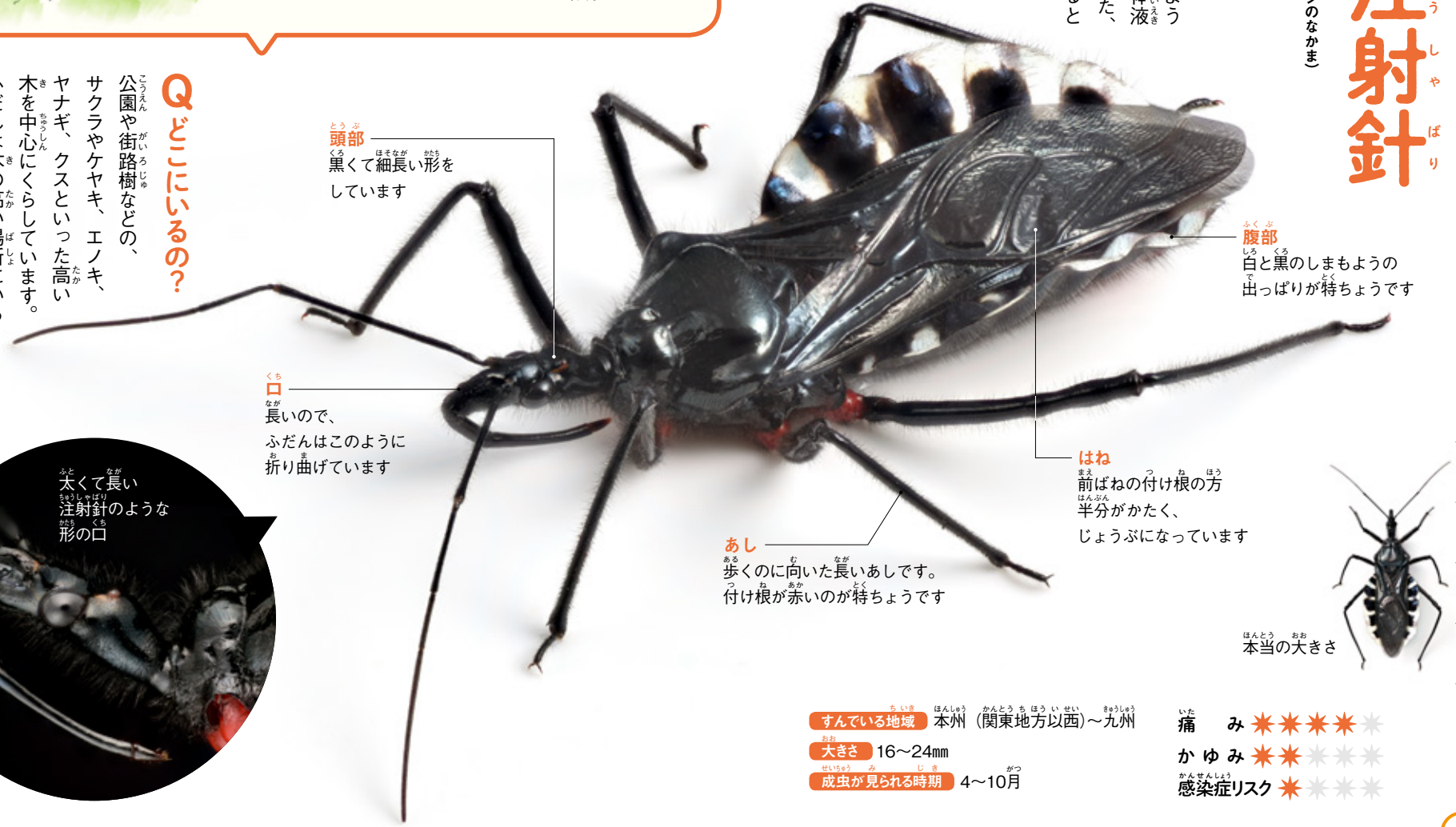
Q どこにいるの？

公園や街路樹などの、サクラやケヤキ、エノキ、ヤナギ、クスといった高い木を中心にくらしています。ふだんは木の高い場所にいるので気がつきにくいですが、6〜7月ごろの産卵の時期になると幹の下の方に降りてきます。

- 住宅地
- もり森・林
- 公園



みたくて長い注射針のような形の口



頭部 黒くて細長い形をしています

口 長いので、ふだんはこのように折り曲げています

腹部 白と黒のしまもようの出っぱりが特ちょうです

はね 前ばねの付け根の方半分がたたく、じょうぶになっています

あし 歩くのに向いた長いあしです。付け根が赤いのが特ちょうです

本当の大きさ



- すんでいる地域** 本州 (関東地方以西)〜九州
- 大きさ** 16〜24mm
- 成虫が見られる時期** 4〜10月

- 痛み** ★★★★★
- かゆみ** ★★★★★
- 感染症リスク** ★★★★★

memo 名前の「ヨコヅナ」は、おなかのふちの白黒のしまもようが相撲で用いられる「けしょうまわし」に似ていることが由来です。

オレにさわると やけどするぜ！

アオバアリガタハネカクシ (甲虫のなかま)

Q さわるとどうなるの？
液体にふれた部分が赤くなり、時間がたつと水ぶくれになります。ほげしい痛みが続くこともあります。この症状がやけどに似ていることから、別名「やけど虫」と呼ばれます。



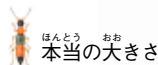
頭部
黒光りして丸く、アリの頭部に似ています

はね
青みがかった黒い前ばねの青みがあった黒い前ばねの下には後ろばねが折りたたまれています

あし
オレンジ色と黒色の、細長いあしです

腹部
節のはっきり見える細長い腹部は、先端が黒く、全体はオレンジ色です

Q 毒はどこから出るの？
天敵の小鳥などに食べられないように、体液に毒がふくまれています。そのため、体をつぶしたり、傷つけたりすると、毒をふくんだ体液が出てきます。



本当の大きさ

すんでいる地域 北海道～南西諸島

大きさ 6～7mm

成虫が見られる時期 1年中

痛み ★★★★★

かゆみ ★★★★★

感染症リスク ★★★★★



田んぼ



河原

Q ニジニジするの？

田んぼや河原、池や沼など、しめつた場所の地面にくらしています。昼間は石の下などで休んでいて、暗くなると明らかに集まる性質があります。

ハネカクシのはねのたたみ方が宇宙開発を進める!!

ハネカクシはカブトムシと同じ甲虫のなかま。かたくて小さい前ばねの下に、長い後ろばねをきっちりしまっているのが最大の持ちようです。はねを一枚ずつ別にたたむほかの甲虫とちがいで、ハネカクシは2枚のはねを重ねて、小さくたためます。もちろん、広げるときは一瞬ですし、じょうぶです。このたたむ手順を応用して、宇宙空間で使う太陽電池パネルの運搬に活用できないか、研究が進められています。

毒でできた ぶよぶよの体

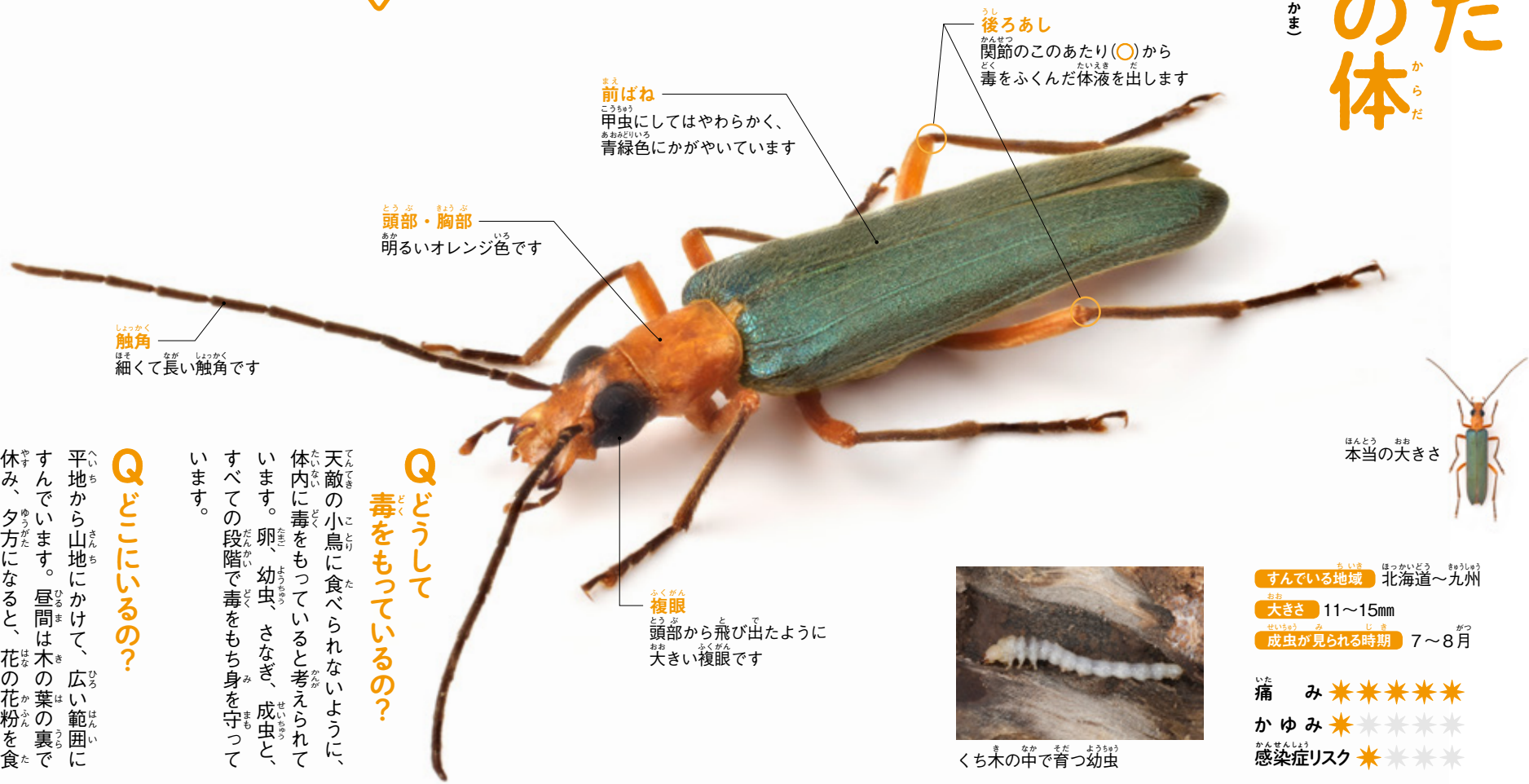
アオカミキリモドキ (甲虫のなかま)

Q 毒はどこから出るの？

甲虫ですが体がぶよぶよでやわらかく、簡単につぶれて毒をふくむ体液が出てきます。また、刺激すると、あしの関節から毒をふくんだ黄色い体液を出します。その体液が皮ふにふれると水ぶくれになり、痛みがしばらく続きます。

カミキリムシとは似ても似つかない

カミキリムシという体が細長くアゴが大きいかつこい甲虫がいます。一方、このアオカミキリモドキは名前は似ていますが、体は半分くらいの大きさでやわらかく、どこか弱々しい。モドキというかつこ悪い名前もつけられ、カミキリムシのような大あごをもたないのです。よりにできるのは毒だけ。花粉が主食のおとなしい昆虫ですが、ピンチになるとあしの関節から毒を出します。見つけてもさわってはいけません。



ほんとうのおお 本当の大きさ

すんでいる地域 北海道～九州
 大きさ 11～15mm
 成虫が見られる時期 7～8月

痛み ★★★★★
 かゆみ ★★★★★
 感染症リスク ★★★★★



くち木の中で育つ幼虫

Q どうして 毒をもっているの？

天敵の小鳥に食べられないように、体内に毒をもっていると考えられています。卵、幼虫、さなぎ、成虫と、すべての段階で毒をもち身を守っています。

Q どこに生えるの？

平地から山地にかけて、広い範囲にすんでいます。昼間は木の葉の裏で休み、夕方になると、花の花粉を食べるに飛びまわります。夜、窓の明かりや街灯によく集まります。

- 河原
- 森・林
- 草地
- 公園

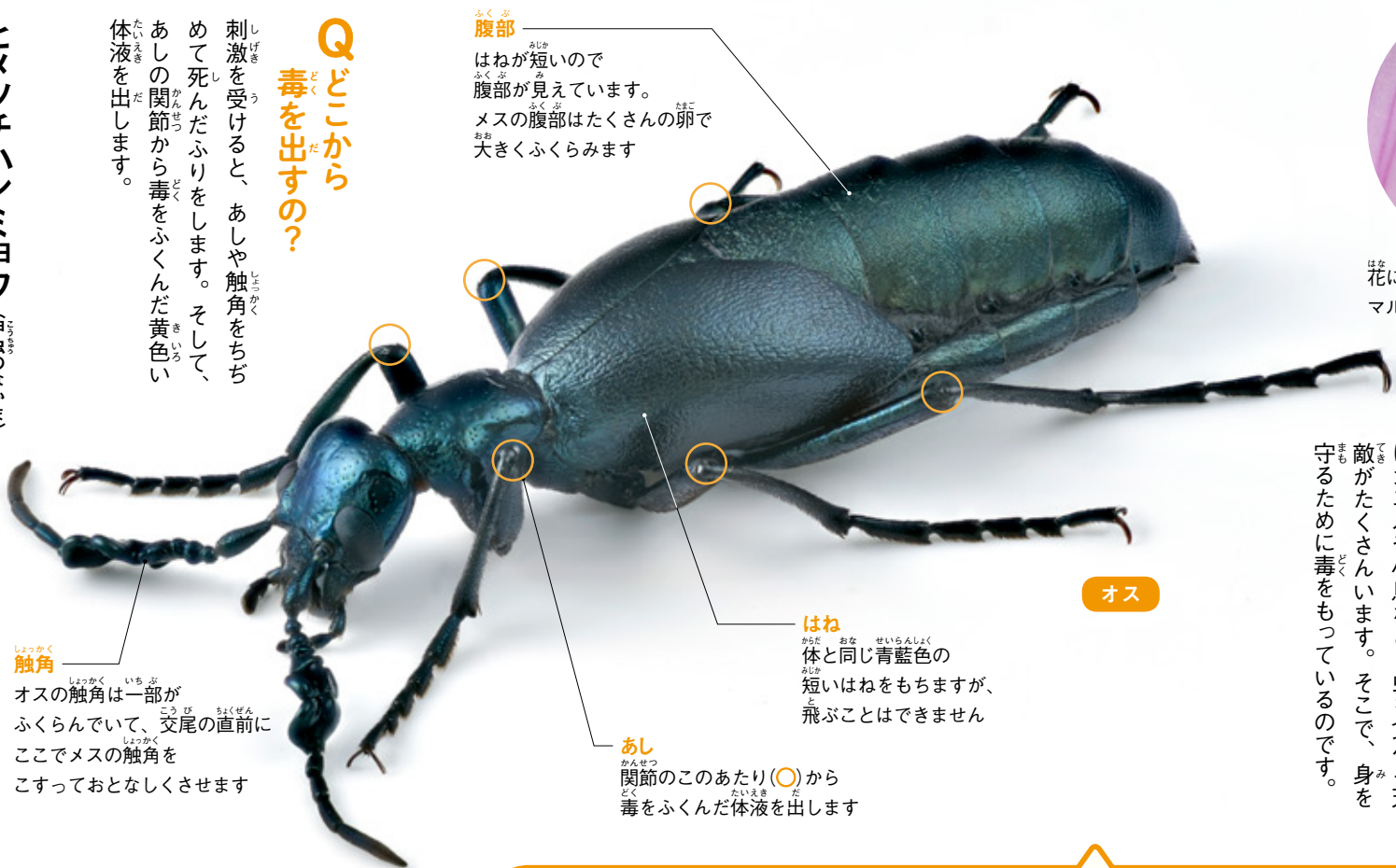
memo 卵・幼虫・さなぎも毒をもっていますが、普段目にするのではないので、あまり気にしなくてもよいでしょう。

歩いていても 決してつかまなないで

ヒメツチハンミョウ (甲虫のなかま)

Q どこのから 毒を出すの？

刺激を受けると、あしや触角をちぢめて死んだふりをします。そして、あしの関節から毒をふくんだ黄色い体液を出します。



腹部
はねが短いので腹部が見えています。メスの腹部はたくさんの卵で大きくふくらみます

はね
体と同じ青藍色の短いはねをもちますが、飛ぶことはできません

あし
関節のこのあたり(○)から毒をふくんだ体液を出します

触角
オスの触角は一部がふくらんでいて、交尾の直前にここでメスの触角をこすっておとなしくさせます

オス



花に登ってハナバチを待つマルクビツチハンミョウの幼虫

Q 毒をもっているの？

成虫ははねがあっても短いので、飛んでにげることができません。地面を歩いてくらしています。そこにはカエルや小鳥など、虫を食べる天敵がたくさんいます。そこで、身を守るために毒をもっているのです。

幼虫はヒツチハイクで 決死の旅に出る

卵からかえった幼虫はじょうぶなツメで草をよじ登り、花で虫がくるのを待ちます。花にきた虫にヒツチハイクをするためです。乗り移ったのがハナバチのメスなら運がいい！ ハナバチの体にしがみついて空を飛び、ハナバチの巣までたどり着き、ハナバチが幼虫のために用意した花粉団子を食べて育ちます。幼虫が生きられるのは4日間だけ。もしも乗る虫をまちがえたら生き残れないのです。



Q どこのいるの？

成虫は林や草地の地面を歩いて移動し、植物を食べてくらしています。幼虫はハナバチのなかまの巣に入りこみ、ハナバチの卵や幼虫を食べて成長します。



ほんとうのおお 本当の大きさ

すんでいる地域 本州～九州
大きさ 7～23mm
成虫が見られる時期 3～5月

痛み ★★★★★
かゆみ ★★★★★
感染症リスク ★★★★★

武器は、毒を注入するツメ!

トビズムカデ (オオムカデのなかま)

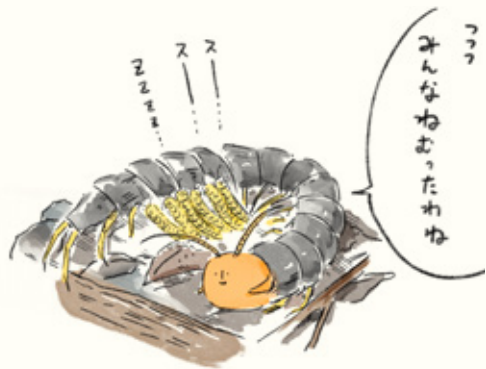
Q どうしているの?

昼間は石や落ち葉などの下のしめった場所で休んでいます。夜になると昆虫や生きものの死がいなど食べ物を探して活動します。家の中で見かけるのもほとんどが夜です。



じつは、けなげに子育てをする

母ムカデは80個ほど産んだ卵を約1か月もの間、飲まず食わずで守ります。カビが生えないように、いつも卵をなめてきれいにします。小さな子ムカデが産まれてからも、自力でえものがとれるようになるまで、しばらくはだいて守ります。おそろしい見た目でも、自分のことはさしおいて我が子の世話を続ける母ムカデ。母親の愛情は強いのです。



体節

全部で21の節があり、1つの節に2本のあしが生えています。1つ目の節に1つ目の毒ツメがあります

毒ツメ(顎肢)

するどい毒ツメが2本あります。あしがあごのように変化したもので、正式には顎肢といいます



Q かまれたらどうなるの?

家の中に入ってきたムカデに気がつかずにさわって、毒ツメでかまれることがあります。ムカデは毒ツメから毒を注入するため、はげしく痛み、赤くはれます。

Q どうしてかむの?

ムカデはゴキブリなどを食べる肉食性で、触角でえものを探りあてたら毒ツメでかんで弱らせてから、小あごなどを使って食べます。身を守るようにも毒ツメを使います。



本当の大きさ

えいこうし(曳航肢)

あしが変化したものですが触角のように見せ、こちらを頭部と思わせていると考えられています

あし

全部で42本のあしがあり、歩くためのあしがあり、先には細くつがったツメがついています

頭部

上下に平たい赤い頭部には触角と口器、明暗を見分けるだけの8個の単眼があります

- すんでいる地域 本州 (東北地方以南)~南西諸島
- 大きさ 80~150mm
- 成虫が見られる時期 4~10月

- 痛み ★★★★★
- かゆみ ★★★★★
- 感染症リスク ★★★★★

かみついたら 何日もはなれない!

フタトゲチマダニ(ダニのなかま)

腹部
体のほとんどが腹部。
背中側にはややかたい
甲のようなものがあります



口を下側(腹側)から見たところ

口
頭に見える部分は口で、マダニに頭はありません。
触肢の間に、皮ふを切りさく鋏角とセメント物質を出す口下片があります

吸血後



あし
幼虫は6本ですが、若虫、成虫では8本になります

吸血前

Q どうしてかみつくの?

血を吸うためです。幼虫は成長するために、メスは卵をつくるために血を吸います。血を吸ったダニの体は3〜4倍にも大きくふくれます。

Q かまれたらどうなるの?

かまれると赤くなります。かゆみはないこともあります。マダニはライム病や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などの感染症をうつすことがあります。また、無理にとろうとすると、ダニの口が体内に残り、病原体を逆流させてしまうことがあります。

血を吸うために
ひたすら待つ

マダニは動物が近づくまでただひたすら待ちます。そして通りかかった動物にとびついたら、皮ふを切ってギザギザした口を皮ふの中に差しこみます。次に、セメントのような物質で皮ふと口を固めてしまいます。その後、血液を2〜5日かけてゆっくりと、気づかれることなく吸血するのです。



Q どうにかなるの?

林に生えた草の葉の上などにおいて、動物を待ちぶせしています。動物の体温や振動、二酸化炭素を感じると、素早くあしを引ひかけて乗りうつります。



すんでいる地域 日本全国
大きさ 約3mm(吸血後は約10mm)
成虫が見られる時期 4〜10月

痛み ★★★★★
かゆみ ★★★★★
感染症リスク ★★★★★

お出かけ前の虫ケアチェック

人間にとってキケンな虫も、それぞれ真剣に生きていることを知ったみなさん。大事なものは、虫のくらしを守ることと同時に、虫の「キケン」から私たちの身を守る「虫ケア」をすることです。外出前には、次の虫ケアポイントをしっかりチェックして出かけましょう。

明るい色のぼうし

ぼうしをかぶって頭を守りましょう。色は白や明るい色がおすすめです。

タオル

蚊などは汗のにおいを感じてよってきます。こまめに汗をふけるようにタオルを持っていきましょう。

水とう

熱中症をさけるために、こまめに水分をとりましょう。さされた場所を洗い流すときにも使えます。

仕上げの虫ケア

防除用医薬部外品



やくそく 約束してね

水べには大人といっしょに行きましょう。キケンな場所や立ち入り禁止の場所には近づかないようにしましょう。



あかいろ 明るい色のなが 長そで・長ズボン

できるだけ肌を見せないように、長そで・長ズボンにしましょう。色は白や明るい色がおすすめです。



うんどうぐつ

はだが出るサンダルではなく、はきなれたうんどうぐつがよいでしょう。

むしざい 虫よけ剤

はだみが見えているところに虫よけ剤をぬって出かけましょう。蚊やマダニ、ブユやアブに効果があります。

むしざいただつか 虫よけ剤の正しい使い方

*虫よけ剤は、おうちの人や先生といっしょに使しましょう



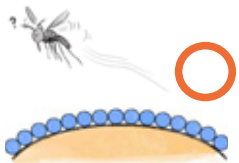
1 うでや足など、はだみが見えているところに、15cmほどはなしてからスプレーします。

2 ぬれていないところがないように、手のひらでのばしてぬり広げます。



3 かおや首には、手のひらにスプレーして、ムラがでないようにぬり広げます。

ていねいにムラなくぬってね



ムラなくぬれていると、虫は肌をさがせないで、おそわれません



ぬれていないところがあると虫におそわれてしまいます

ヒメツチ
ハンミョウ



どく毒を出す

はるさき すがた あらわ こうちゅう はたけ そう きばやし
春先から姿を現す甲虫で、畑のまわりや雑木林の
じめん たいえき どく まいる
地面などで見られる。体液に毒があり、黄色い毒
えき かんせつ だ
液をあしの関節から出すため注意すべし。とても
ユニークな姿をしていて、動きもおそいために捕
まえたくなるが、さわらずに観察すべし。

ヨコヅナ
サシガメ



さす

こうえん う
公園などに植えられたサクラやエノキなどの木の
みき ふようい ちゆうしやばり くち
幹にいますが、不用意につかむと注射針のような口
でさすことがあるので注意すべし。幼虫は集団で
いることが多く、小さな幼虫でもさすことがある
ので、さわってはいけない。

キイロスズメバチ



さす

くろ っぽい ぶく やぼうし、ニオイの強い香水やヘアス
プレーは、ハチが興奮してキケンなのでさけるべ
し。攻撃の前に、まわりを飛んだり、カチカチと
音を立てて威嚇するので、そっと身を低くしてゆっ
くりその場をはなれるべし。決して手ではらったり
走ったりしてはいけない。

トビズムカデ



かむ

しめった 場所が好きなので、風通しをよくし、と
くに梅雨時は玄関の植木鉢や石など、もぐりこみ
やすいものがあれば片付けるべし。ゴキブリが好
物なので、ゴキブリのエサとなる食べかすやゴミ
はしっかり始末すべし。

アオバアリガタ
ハネカクシ



どく毒を出す

たいえき どく
体液に毒をふくむため、指でつぶしたり、さわった
指で目をさわらないように注意すべし。夕方、
暗くなってくると明かりに集まる性質があるため、
自転車で走っていると、目などに飛びこんで来る
こともあるため気をつけるべし。

ヒロヘリアオ
イラガ



さす

ようちゅう
幼虫は、サクラやカキノキ、カエデやクスノキな
どの葉を食べるため、葉に食べられたあとを見つ
けたら木に近づかないように注意すべし。木の幹
などにまゆをつくって冬を越すが、まゆに毒のあ
る毛が付いているため、さわってはいけない。

マダニ



かむ

のやま
野山へはマダニにきく虫よけ剤をもって行くべし。
はだを出さないように注意し、ズボンのすそをく
つ下の中に入れて足首を守るべし。草むらを出た
ら、ダニがついていないか確認するのを忘れては
いけない。

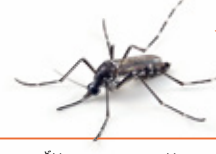
アオカミキリ
モドキ



どく毒を出す

そう きばやし まちなか み こうちゅう みどりいろ
雑木林や街中で見られる甲虫で、緑色にかがやく
はねが美しいが、あしの関節から毒を出すため、
決してつかまないようにするべし。夏に多く現れ、
昆虫採集中に体に止まっていることもあり、そう
いうときは手で乱暴にはらいのけてはいけない。

ヒトスジシマカ



さす

のやま か
野山へは蚊にきく虫よけ剤をもって行くべし。家
でヒトスジシマカを見かけたら、近くに幼虫の発
生場所があるはず。バケツや空かんなど雨水がた
まる場所がないか調べて、片付けるのを忘れては
いけない。

約束してね

さされたり、毒液にふれたり、
かまれたりしたときは、
すぐに大人に言いましょう

身近な虫でも、キケンな虫かも。

強い毒性を持つ虫や、感染症を媒介する虫は、

意外と身近なところに潜んでいます。

つまり、虫はケアすべき「健康リスク」でもあるのです。

だからアース製薬は、

「殺虫剤」から「虫ケア用品」へと呼び方を変えました。

もちろん中身の効き目と、安全性にもちゃんとこだわっていますから、

みなさんの健康を守るために、安心してお使いください。

#虫ケアはヘルスケア



アース製薬

もっと知りたくなったら

害虫事典

